

特集②

令和4年度常総市中学生議会

8月9日、市議会議場で恒例の中学生議会を開催しました。

これは、毎年夏休みを利用して、中学生たちに議会の仕事を理解してもらうとともに、市に対して提案や提言を行い、公式の見解をもらうものです。

昨年度はオンラインでの開催となったため、3年ぶりに議場での開催となりました。

今年度も各校からの代表、全20人が参加し、それぞれのアイデアを提案しました。各校それぞれの質問を抜粋して紙面で紹介します。

また、当日の中学生議会の様子は、インターネットで録画を視聴することができます。



インターネット議会中継

水海道中学校

スタンプラリーによる市のPRと活性化について

市内の名所を巡ることで集めたスタンプを、イベントなどで使用できる食事券に交換できるようにして、そこから、交換した食事券を年間を通して市内の飲食店などで使用できるような仕組みに発展させていき、市のPRに繋げてはどうか。

答弁

市内の名所にスタンプを設置することは可能です。市内の各名所を巡りながら、飲食店に足を運んでいたような仕組みを作りたいと考えています。

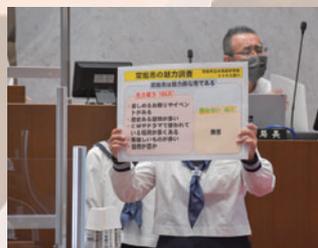
鬼怒中学校

鬼怒川の河川敷地の有効活用について

鬼怒川の河川敷地を整備し、民間業者に開放して、バーベキュー施設、アスレチック施設、グランピング施設、オープンカフェや川床テラスなどの「市民のふれあいの場」として有効活用していき、市の活性化に繋げてはどうか。

答弁

地域住民や民間事業者などと連携しながら、河川敷地の有効活用について、河川管理者の国土交通省と協議を進め、積極的に推進していきたいと考えています。



水海道西中学校

福祉施策の充実について

高齢化の進展に備えて、家にこもりがちなお年寄りが安心して外出したくなるような街づくりを実施するために、福祉施策を充実させてみてはどうか。

答弁

高齢の方が外出しやすい環境を整えることにより、外出する機会が増えることは、心と身体の健康維持だけでなく認知症の予防にも役に立つものですので、気軽に、そして安全・安心に外出する機会が増えるような支援策を住民の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。



石下中学校

常総市の田んぼを利用した地域活性化について

青森県田舎館村は田んぼアートを行うことにより、年間数千万円以上の経済効果をもたらしていると言われていたが、市でも豊田城から見える田んぼアートの作成をして、PRに繋げてはどうか。

答弁

田んぼアートは地域活性化に繋がる有効な手段の一つであると認識しています。同時に「米づくり」という農業体験を通して、来年開業となります道の駅との連携といった、観光事業としても大きなPRになると考えています。



石下西中学校

少子化対策について

市内には公園などの遊び場はあるが、古く塗装がはがれていたり壊れていたりするものがある。修復したり、新しく知育遊具を設置したりするなどリニューアルしてはどうか。

答弁

子どもたちに人気のある知育遊具のほか、おむつ替えシートやベビーチェアが備わった多目的トイレ、また、園内の一角に幼児コーナーを設置するなど子育て支援機能のリニューアルを図り、親子で安全・安心に楽しめる環境づくりを目指していきたいと思えます。



◀前半の議長を務めた新東星乃さん（石下西中学校）

後半の議長を務めた堀本蒼真さん（水海道中学校）▶



◀答弁を受けて再質問をする様子

再質問に回答する神達市長▶

